



# わかたけ

学校通信

練馬区立大泉西小学校  
学校通信 12月号  
令和4年 11月 30日発行  
編集責任者 校長 岩切 洋一

<http://www.nerima-ky.ed.jp/ooizumi-w-e/> 学校HP 毎週更新中!

## 初めての音楽会

副校長 和歌 恭子

「6年生の演奏がマジ凄って子供が言うので、DVDを買おうかと思います。」  
受付を手伝ってくださっていたPTAの方の言葉です。

11月25日、26日に、大泉西小学校初めての音楽会が行われました。

学級閉鎖で練習の回数が減る等、発表間近に困難もありましたが、予定通りに開催されました。

26日は雨で寒い一日でしたが、体育館に新しく備わった空調設備により、扉を開放しつつも、なんとか暖かい環境で音楽会を行うことができました。

「マジ凄い」6年生の演奏は、児童鑑賞日の25日に行われました。実は、6年生の演奏は全学年が聴きに行きました。最初は同じ高学年である5年生と兄弟学年である1年生だけが体育館で鑑賞し、他の学年は教室でオンライン中継を見る予定でした。感染拡大防止のため、まだ全学年と一緒に体育館には入れないからです。しかし、前日に「アンコール！って言いながら見に行ったらダメかな。」という声が挙がり、急遽6年生の演奏だけ、2,3,4年生も聴きに行くことになりました。

目の前で直に聴く本物の演奏、その迫力に圧倒されたのでしょうか。自分たちとの違いを肌で感じ、素直に感心した気持ちを保護者に伝えたのだと思います。

保護者の方の言葉を聞いて、やっぱり音楽会をやってよかったと思いました。まだマスクを外せず制約も多い中ですが、あんな演奏をしてみたい、と下学年の目標になるような姿を見せられたことは、大きな成果だと感じています。子供たちの感想を聞いて、他の学年の保護者の方に「聴いてみたい、見てみたい。」思ってもらえたことも、とても嬉しく喜ばしい成果でした。

また、今回は、参観人数を制限しないことで、久しぶりに複数の保護者の方にも参観していただくことができました。他の学年の様子を直にお見せできなかったのは残念ですが、子供たちが音楽会を通して他の学年からどんな素敵な影響を受けたのかを、少しでも感じていただけたのであれば、幸いです。

## お知らせ

- ① 学校ホームページのURLが変更になりました。  
新しいURLは、<https://www.nerima-ky.ed.jp/ooizumi-w-e/> です。(横棒は、ハイフンです。)
- ② 3年生の音楽会は、12月10日(土)に延期になっています。  
9:30開場 9:40開演です。音楽会だけ参観される方も、校舎昇降口の受付を済ませてからおいでください。参観カードはなくても構いません。(音楽会は、人数制限がありませんが、授業の方は、お子様一人につき保護者一人の参観をお願いします。)

## 12月の行事予定

日	曜日	内 容
1	木	個人面談（4時間授業）
2	金	4年社会科見学
3	土	
4	日	
5	月	個人面談（4時間授業） 全校朝会
6	火	個人面談（4時間授業） 安全指導
7	水	2年研究授業（2年以外4時間授業）
8	木	委員会活動
9	金	個人面談（4時間授業）
10	土	土曜授業日
11	日	
12	月	
13	火	
14	水	
15	木	クラブ活動 避難訓練
16	金	時間走月間終
17	土	
18	日	
19	月	5時間授業
20	火	5時間授業
21	水	
22	木	5時間授業
23	金	2学期終業式 4時間授業
24	土	
25	日	
26	月	冬季休業日始
27	火	
28	水	
29	木	
30	金	
31	土	

## 12月の生活目標

### 「そうじの仕方を見直しましょう」

タブレット端末の導入時より、本校では、各ご家庭に手提げ袋をご用意いただき、教科書、ノート等の学習道具を学校に置いておくようになりました。持ち帰りの荷物は減りましたが、学校でうまく管理できていたかということ、そうでもないように見受けられます。あるべきものをあるべきところに片付けるのは、意外に難しく、苦戦している子も多いです。

今月は、計画的に学習用具を持ち帰ります。みんなで教室の大掃除にも取り組みます。

冬休みには、次学期に向けて学習用具を整えるとともに、ぜひお子さんにも日々の片付けや掃除に取り組みさせてください。先人からの知恵はもちろん、科学的・環境的視点からも学びがたくさんあります。

生活指導主任・松本 美佐

## 校内研究について

### 「みんなでわかった！みんなでできた！」

今年度の校内研究では、子供たちみんなが分かる・できる算数の授業を目指して、教員のスキルアップに取り組んでいます。

どうしたら、どの子も分かる授業になるのか、教員全員で頭を悩ませながらいろいろな工夫を考えています。その中で、大切だと気付かされたのは、繰り返しの学習です。同じ教材や内容を繰り返し学ぶことで理解が深まっていきます。授業の中でもそうした繰り返し（演習問題）に取り組ませていますが、残念ながら十分でないこともあります。そこで活用してほしいのが宿題の時間です。授業で学習したことを一人で解けるのか確認し、分からなかったことがあれば、学校で先生や友達にきく。放課後の「ばんぼう」も、そうした「自分で取り組む繰り返しの学習サイクル」の助けになれば、と設けられました。是非、有効活用してほしいと思います。

研究主任 田邊 哉子